

校長室だより

緑中鷹

スローガン：○凡事徹底で生活の基礎固め～基本的生活習慣のレベルアップ

○全力燃焼～過程（プロセス）重視

第 14 号

令和7年6月23日（月）

〔発行者〕 三苫 淳一

6月5日(木) 国土交通省・九州地方整備局と水資源機構からのゲストティーチャーに河津勇成さんが加わり、8年生が松原ダムについての学習を行いました。学習内容は、ダムの果たす役割、松原ダムの最大貯水量と緊急放流についてで、特にご家庭でも留意してほしいのは以下の内容でした。

松原ダムでは1秒間に最大1100tの水（およそ25mプール3個分）を放流することができるが、上流部からそれを上回る水が流入し、貯水量の限界に達した場合は、流入する水をそのまま下流に流すことになる。これを「緊急放流」と言う。緊急放流が行われる場合、3時間前から警報や放送で知らせることにしているので、速やかに避難してほしいし、「緊急放流」というワードには敏感に反応してもらいたい。現在のダムは、梅雨のまとまった雨量に備えて貯水量を減らしている。ダムの状況は「国土交通省 川の防災情報」から入手することができる、関心をもって見てほしい。

この「緊急放流」が行われる場合を想定して、どこに・どうやって避難するかなど、ご家庭で話題にしてほしいと思います。



竹田 穂乃香さんの感想

緊急放流は、ダムがこれ以上貯水できない時に行う放流で、川の水位もどんどん上がることが分かりました。私の家の近くにもダムがあるので放流のサイレンをしっかり聞こうと思います。そして早めの避難は、自分の命や周りの人の命を救う時に必要な行動だから、情報を待つより今の状況などを調べることも大切だと思います。

6月18日（水）地域貢献活動として、奥日田観光案内所周辺の清掃を行いました。この清掃活動は、生徒会が企画する恒例行事になっています。全校で行う活動としては、遠足の帰りのごみ拾いに続き、今年度2回目です。また、9号でお知らせし、募集した21日（土）の「みんなの食堂ボランティア」には5名の生徒が参加しました。次回7月19日（土）の「みんなの食堂ボランティア」もまた改めて募集します。



7年生 仁田野 巧くんの感想

草むしりは結構大変だと思いました。おじいちゃんやおばあちゃんはこれをやっているので、今度から草むしりを手伝おうと思いました



向井 孝くんの感想

今回初めて食堂ボランティアに参加しました。掃除や料理の盛付などの仕事が多く大変でした。大変だった分、満足感や達成感を感じられました。お客様の「おいしかったよ」「ありがとう」の言葉が嬉しかったです。



木下 愛美さんの感想

仕事とか上手くできるか不安だったけど、食堂のみなさんがやさしく教えてくださったので、最後までやりきることができました。大変だったけど、料理を運んだ時に「ありがとう」や「ごちそうさまでした」と笑顔で接してくださって、とてもやりがいを感じたし楽しかったです。



8年生 井上 弥太郎くんの感想

いつも自分たちが通る場所がきれいになると気分がいいと感じました。時間が経つとまた元に戻ってしまうのでボランティア活動などきれいな状態を維持できるようにしたいです。

9年生 吉野 可純さんの感想

草取りボランティアを通して、友達と協力し合うことや他学年と関わることの大切さを学びました。積極的に袋を運んだり、草をたくさん取ったりできて達成感がありました。